

令和6年度 学校評価(関係者評価)シート

(様式2)

学校名	加古川市立東神吉南小学校
-----	--------------

1 教育目標	「自ら考え、やりぬく子を育てる」 ひとりひとりを伸ばす教育を基盤にすえ、「未来への道を切り開く力」の育成
--------	--

2 指導目標(めざす児童像)
知・徳・体の調和がとれた、こころ豊かで自立する人づくり ーたくましく「生きる力」を育てるー ○知…自ら学び よく考える子 ○徳…思いやりのある すなおでやさしい子 ○体…心身ともに健康で たくましい子

評価基準

A:できている B:だいたいできている C:あまりできていない D:できていない E:わからない

重点目標	評価項目	達成状況	改善の方策	自己評価の適切さ（関係者評価）	達成状況
「確かな学力」の育成	②協同的探究学習の手法を用いて、多様な考えを引き出し、それを伝え合って考えを深める場面をつくる工夫をした	B	1人1授業の授業研究を行い、全校研究会及び学年団毎に事後研究会を定期的に行った。来年度は、子ども達の実態に合った個別指導にも力を入れて行う。	授業内容や質を客観的に評価、検証できる体制が作られていることは評価できる。さらに個別指導に留意し、向上させる対応を期待する。	B
「豊かな心」の育成	⑦児童がより良い人間関係を築き、安心して帰属できる学級づくりに努めた	A	縦割り班活動やあいさつ運動を推進し、道徳教育では善悪の判断をつけさせ、自己肯定感を高める指導に取り組んだ。学校全体で取り組むことでさらなる効果も見られた。	昨年度より児童のより良い人間関係が構築されてきたと強く感じている。また、校外でもきちんとあいさつしている場面も見られる。さらなる児童のコミュニケーション能力の向上を期待する。	A
教職員の資質能力の向上	⑳毎週木曜日又は個別に設定した定時退勤を守ることができた	B	個別に設定する定時退勤日を追加したことで守れるようになった。その上で業務内容の見直しと精選を進めたい。	同種の業務等の共有に取り組むことで、効率化改善を図る。個人の都合で業務をコントロールすることは容易ではないと思うので組織としての仕組み構築に取り組んでもらいたい。	B
開かれた学校づくり	㉔学校園ユニットやなかよし農園運営委員会、シニアクラブ等との連携を工夫したり、学校運営協議会の意見や学校関係者評価を活用したりすることができた	A	スクリレによる情報発信等各種団体と連携を取り、様々な活動を通して開かれた学校づくりを推進できた。	スクリレによる学校だよりの適時配信は、保護者他の評価大。各種団体の高齢化により、対応が困難になってきている部分があるので、全保護者への協力を得て、行事を進める必要性を感じる。	A